

事故の発生状況

(暦年統計)

Mission 1st
～事故削減に向け、一つずつ着実に取り組む～

- 死者 271人：令和4年と比べ43人（18.9%）増加（令和7年目標まであと46人削減）
- 重傷者 2,051人：令和4年に減少したが、再び増加（ただし、令和7年目標は達成中）
- 人身事故 23,606件：令和2年から増加傾向（令和7年目標まであと約30%削減）
- 飲酒運転 82件：令和4年は減少したが、令和5年はわずかであるが再び増加

【全国】事業用自動車総合安全プラン2025 事故等削減数値目標

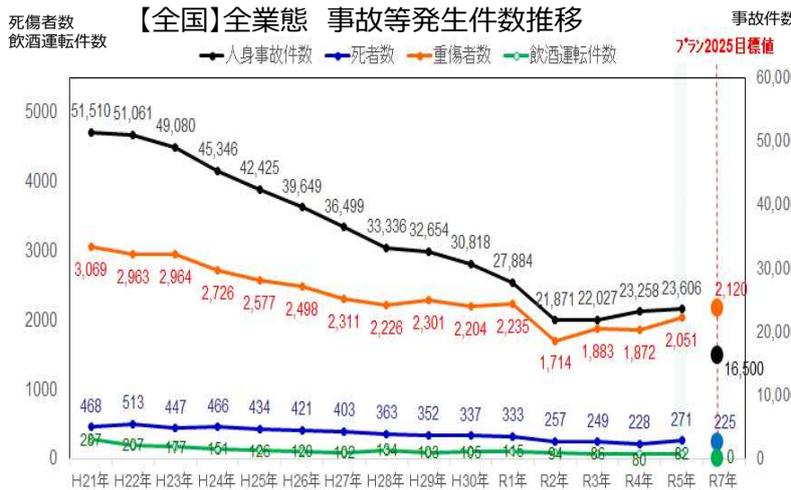
- ① 令和7年までに 死者数225人
- ② 令和7年までに 重傷者数2,120人以下
- ③ 令和7年までに 事故件数16,500件以下
- ④ 飲酒運転ゼロ（★）

【バス】 死者数 10人以下
【タクシー】 死者数 25人以下
【トラック】 死者数 190人以下

【バス】 重傷者数 150人以下
【タクシー】 重傷者数 690人以下
【トラック】 重傷者数 1,280人以下

【バス】 事故件数 800件以下
【タクシー】 事故件数 6,600件以下
【トラック】 事故件数 9,100件以下

★バス、タクシー、トラック共通



※出典：(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)及び中部運輸局資料

- 死者 29人：令和5年は再び増加（令和7年目標まであと10人削減）
- 重傷者 158人：令和4年と比べ39人（32.7%）増（令和7年目標まであと約50%削減）
- 人身事故 2,633件：令和3年以降増加傾向（令和7年目標まであと約45%削減）
- 飲酒運転 5件：下げ止まりの状況。発生した業態はすべてトラック

【中部ブロック】事業用自動車総合安全プラン2025 事故等削減数値目標

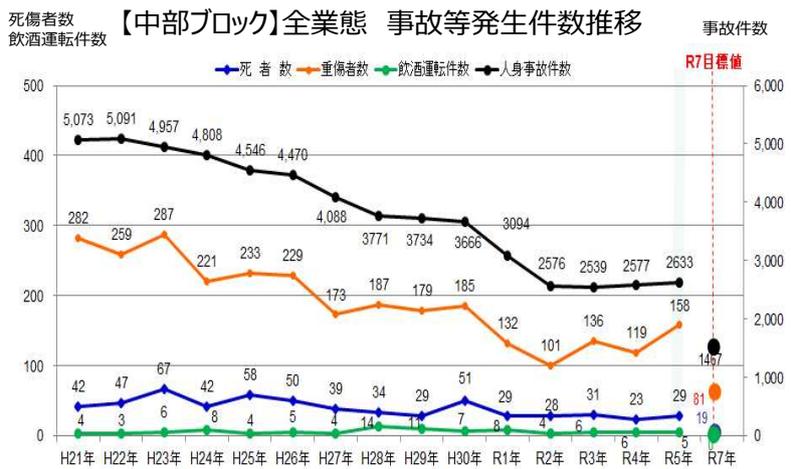
- ① 令和7年までに 死者数19人
- ② 令和7年までに 重傷者数81人以下
- ③ 令和7年までに 事故件数1,467件以下
- ④ 飲酒運転ゼロ（★）

【バス】 死者数 ゼロ
【タクシー】 死者数 ゼロ
【トラック】 死者数 19人以下

【バス】 重傷者数 5人以下
【タクシー】 重傷者数 15人以下
【トラック】 重傷者数 61人以下

【バス】 事故件数 54件以下
【タクシー】 事故件数 423件以下
【トラック】 事故件数 990件以下

★バス、タクシー、トラック共通



※出典：(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)及び中部運輸局資料

- 乗合バスの車内事故 21件：令和4年と比べ8件（27.5%）減少（令和7年目標まであと10人）
- 貸切バスの乗客負傷事故 2件：令和2年以降3年ぶりに2件発生（ただし、令和7年目標は達成中）
- タクシーの出会い頭衝突事故 123件：令和4年は増加したが、再び減少（令和7年目標まであと約25%削減）
- トラックの追突事故 871件：平成30年以降減少傾向だが、近年の減少幅は小（令和7年目標まであと約40%削減）

【中部ブロック】事業用自動車総合安全プラン2025 事故等削減数値目標<各業態の個別目標>

① 令和7年までに
【乗合バス】

車内事故件数11件以下

② 令和7年までに
【貸切バス】

乗客負傷事故数 3件以下

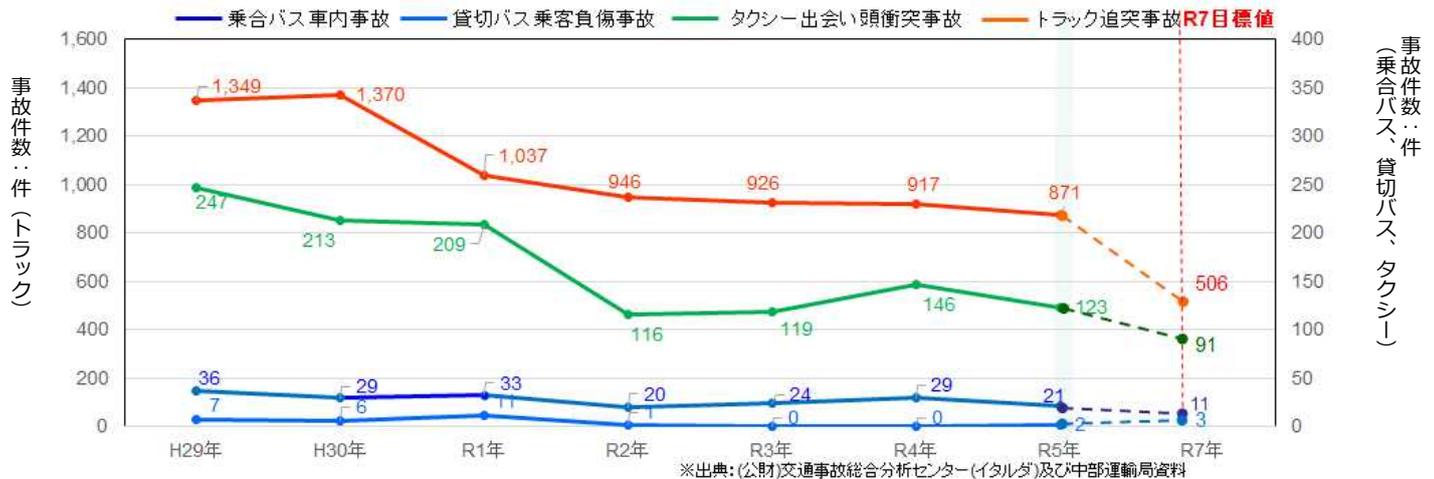
③ 令和7年までに
【タクシー】

出会い頭衝突事故件数91件以下

④ 令和7年までに
【トラック】

追突事故件数 506件以下

【中部ブロック】業態別 個別目標別事故件数推移



【中部】業態・事故類型別の事故発生状況の傾向（令和5年）

中部ブロック各業態別の人身事故の状況（R5年）

各業態別の発生上位の事故類型2種は以下のとおり

バス：車内事故 21件（R4:29件）、追突事故 20件（R4:12件）

タクシー：出会い頭衝突事故 123件（R4:146件）、追突事故 147件（R4:126件）

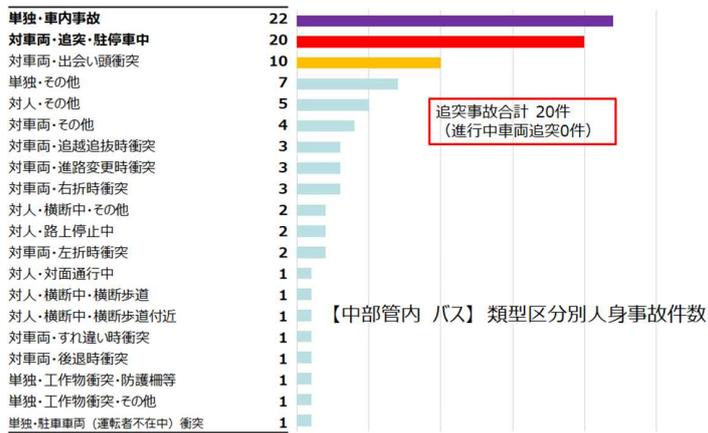
トラック：追突事故 871件（R4:917件）、出会い頭衝突事故 296件（R4:287件）

➡ 各業態の個別目標の事故は減少したが、バス、タクシーの追突事故、トラックの出会い頭事故は増加

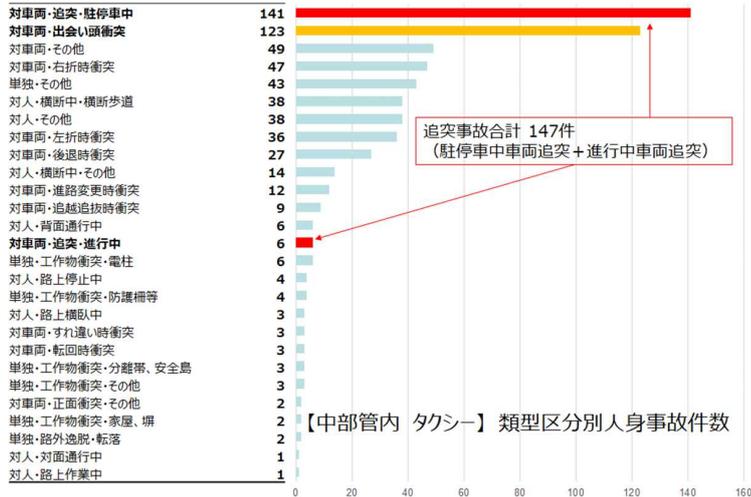
各県各業態の事故の傾向（R2～R5年）

県別で推移にばらつきがあるものの、全体的に概ね減少傾向

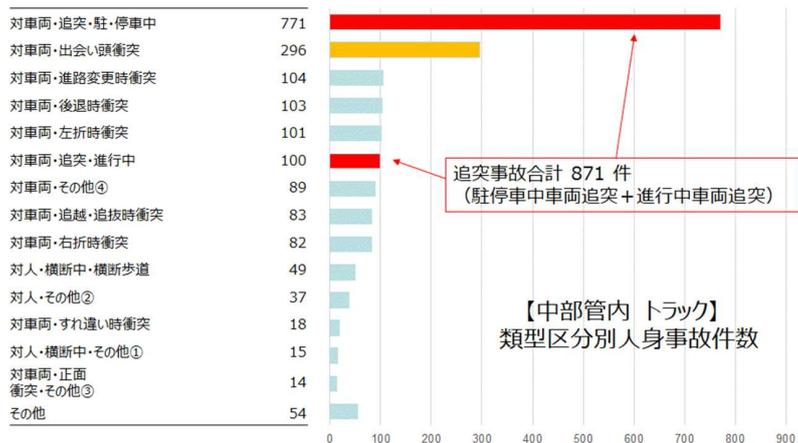
バス



タクシー



トラック



※出典：(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)及び中部運輸局資料

【中部】県別 業態別 事故類型別の推移(平成28年～令和5年) 中部運輸局

愛知

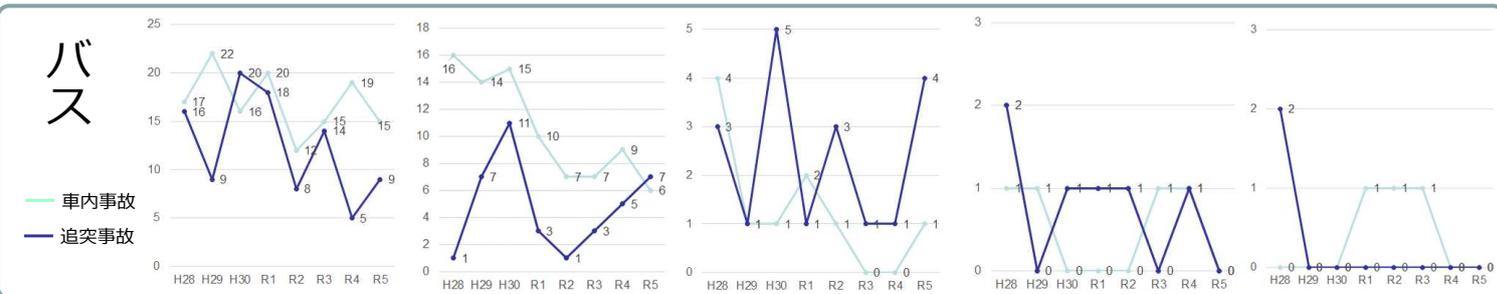
静岡

岐阜

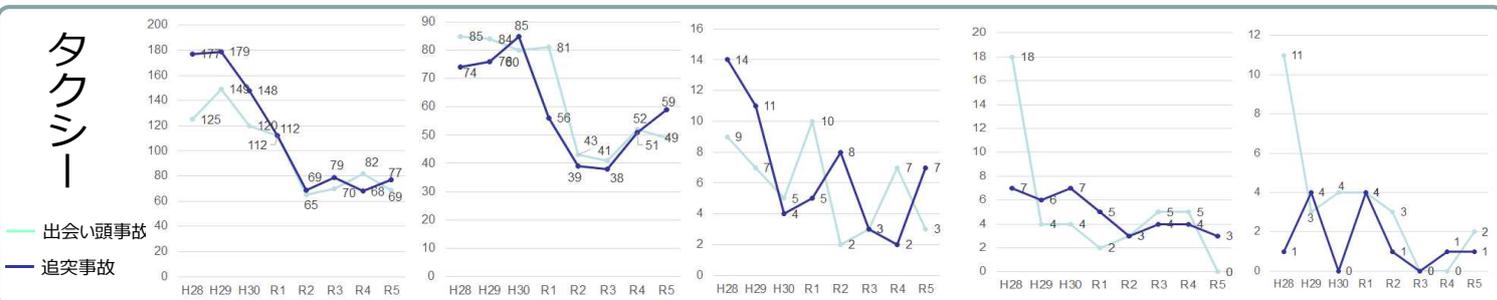
三重

福井

バス



タクシー



トラック



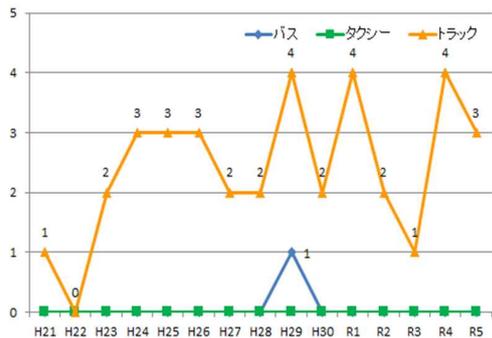
※出典：(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)及び中部運輸局資料

- 飲酒運転による事案・事故は**5件発生**。
- 令和6年も既に**3件発生（8月末時点）**
- いずれも、**点呼の適切な実施がなされていなかったことが要因の1つと推定**。

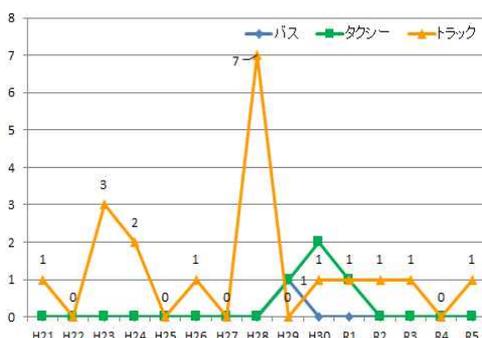
業態	発生日	時刻	運転者概要	負傷者等の有無	事故概要	酒気帯びに至った要因、教訓
貨物	R5.1.14	午後7時27分頃	性別：男性 年齢：60歳代 経験：20年	軽傷者1名	トラックが運行途中で信号のある交差点に赤信号で進入したところ、トラックから見て左側から青信号で交差点に進入した軽自動車と衝突。一般道のコンビニエンスストアで酎ハイ500mlを4缶購入し、当該コンビニエンスストアで飲酒し休息を取得、再乗務時も酒気帯びであった。	運転者との日常会話や過去の健康診断結果により常習的に飲酒をしていることを把握していたが、飲酒の可能性を考えた点呼等の管理が不十分だったおそれ。使用期限を超えたALCを使用した点呼による、適切な酒気帯びの確認ができていなかったおそれ。
貨物	R5.4.11	午前0時55分頃	性別：男性 年齢：50歳代 経験：27年10ヶ月	重傷者1名 (運転者)	トラックが運行途中、高速道路で中央分離帯やガードレールに複数回衝突後、中央分離帯のガードレールを越えてコンクリートの基礎ブロックに乗り上げて停止。一般道のコンビニエンスストアにおいて、弁当と酎ハイ500ml 2缶を購入し、運転しながら酎ハイ2缶を飲んだ。	過去、自家用での飲酒運転をした者で注意はしていたが、以降の健康診断結果から肝臓の数値も改善傾向であったことにより、管理に油断があったおそれ。普段からの運行管理が不十分で、適切な点呼の実施や、運行指示が不十分であったおそれ。
貨物	R5.6.2	午後10時00分頃	性別：男性 年齢：50歳代 経験：20年	軽傷者1名	トラックが運行途中でパーキングエリアで駐車し休息をとっていたところ、サイドブレーキの緩みにより当該車両の前方に駐車していたトラックに衝突。この際、運転者は衝突したことに驚き後退、後方にいたトラック衝突。一般道のコンビニエンスストアにおいて、酎ハイ500ml 4缶を購入し、当該パーキングエリアで飲んだ。	休息後の再乗務まで長時間が見込まれたことにより、普段はしない飲酒をしたことが原因で、気の緩みや飲酒のリスクを軽視していたおそれ。
貨物	R5.9.21	午後9時41分頃頃	性別：男性 年齢：40歳代 経験：1年	なし	トラックが運行途中、警察の検問所手前において、路肩に駐車し水を飲んだことから、警察が不審に思いアルコール検査を行ったところ酒気帯びと判明。一般道のコンビニエンスストアで缶ビール5缶を購入した。飲酒場所は不明だが、検挙時は缶ビール3缶を摂取していたもよう。	遠方の運行で、電話での点呼かつシートでのないALCを使用していたことが要因の一つ。また、会社とは平日は飲酒をしない約束であったが健康診断の問診においては「毎日飲酒する」との回答がなされていたことから、健康診断の結果を十分に活用できていなかったおそれ。
貨物	R5.11.22	午後10時44分頃	性別：男性 年齢：50歳代 経験：1ヶ月以内	なし	トラックが運行途中、赤信号で停止していた乗用車に追突。警察の事情聴取時、運転者の呼気から基準を超えるアルコールが検出された。	雇入れ直後の事案で、適切な指導等がなされていなかったおそれ。事故直前の乗務前点呼がセルフ点呼であり、適切な酒気帯びの確認がなされていなかったおそれ。
貨物	R6.2.17	午後4時43分頃頃	性別：男性 年齢：40歳代 経験：26年	軽傷者1名	トラックが運行途中、赤信号で停車中の乗用車2台の列に追突。トラックの運転者にけがはなかったが、言動等に不審な点があったことから病院に搬送され、酒気帯び運転が判明。飲酒をした詳細は不明だが、トラック車内から複数本のハイボール500ml 4缶が発見された。	運転者の人柄から、まさか酒気帯び運転をするような人物と認識していなかったことによる管理の緩み。車両の持ち帰りがあり、全ての点呼が電話点呼、かつ、ALCを使用していなかったことから、適切な酒気帯びの確認がなされていなかったおそれ。健康診断結果から、常態的に飲酒をしていると推定される運転者であったが、当該情報が生かされていなかったおそれ。

【中部】飲酒運転 県別・業態別推移(令和5年)

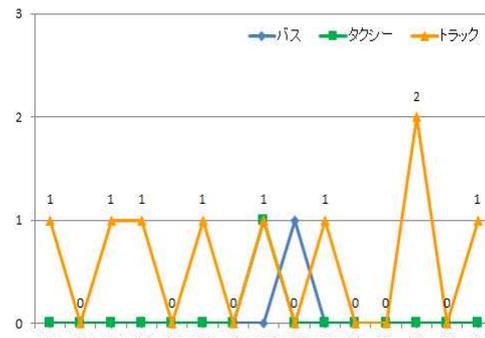
愛知



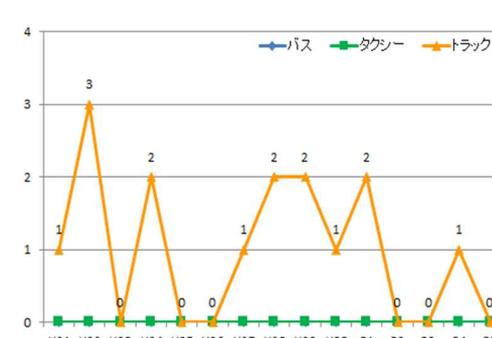
静岡



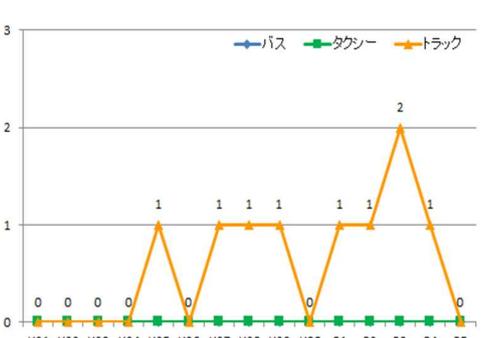
岐阜



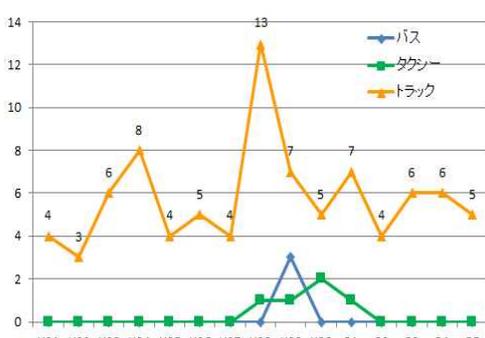
三重



福井



中部



- 令和5年に健康起因事故は103件発生。前年と比べ29件(39.1%)増加。
- バス(乗合・貸切)、タクシー、トラックの全業態で増加。



※出典:中部運輸局資料